

情報通信審議会 情報通信技術分科会
 携帯電話等周波数有効利用方策委員会
 CDMA2000高速データマルチキャリア方式作業班（第3回） 議事要旨（案）

1 日時
 平成21年10月19日(月) 15:00~16:15

2 場所
 三田共用会議所 3階 A、B会議室

3 出席者（敬称略）

作業班構成員：

若尾 正義	(社)電波産業会
新 博行	(株)NTT ドコモ (代理：坂本 信樹)
伊藤 健司	欧州ビジネス協会 電気通信機器委員会
加納 秀人	京セラ(株)
五味 貞博	パナソニック(株)
城田 雅一	クアルコムジャパン(株)
菅田 明則	KDDI(株) (代理：拮石 康博)
竹中 哲喜	ソフトバンクモバイル(株)
多田 東隆	ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(株)
中川 永伸	(財)テレコムエンジニアリングセンター
西本 修一	(財)移動無線センター
林原 幹雄	(株)東芝
三浦 美治	日本放送協会
諸橋 知雄	イー・モバイル(株)
矢野 陽一	(株)ウィルコム
山本 浩介	モトローラ(株)
吉野 洋雄	(株)テレビ朝日

説明者：

長谷川 真司 KDDI(株)

事務局：

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 竹内、同課 推進官 高田、
 同課 課長補佐 中里、同課 移動体推進係長 白壁、同課 第二技術係長
 遠藤、

4 配布資料

資料番号	配布資料	提出元
資料81-MC3-1	CDMA2000高速データマルチキャリア方式作業班 (第2回) 議事要旨(案)	事務局
資料81-MC3-2	EVDOマルチキャリア共用検討状況についてのご報告 ~EVDO Rev. B機能の一部導入 ~	KDDI

資料81-MC3-3	情報通信審議会 情報通信技術分科会 携帯電話等周波数有効利用方策委員会 報告 目次 (案)	事務局
------------	---	-----

5 議事概要

(1) 前回議事要旨について

前回議事要旨(案)(資料81-MC3-1)は、作業班構成員に事前に送付されていることから、読み上げは省略して配布のみとし、気づきの点があれば、10/30(金)までに事務局まで知らせることとなった。

(2) 隣接システム間の干渉調査について

ア 前回会合以降引き続き検討することとしていたラジオマイク、放送事業用FPU、MCAとの間の干渉調査の結果を含め、隣接システム間の干渉調査の結果について、KDDIの拮石氏(菅田構成員の代理)及び長谷川氏(説明者)から、資料81-MC3-2に基づき説明が行われた後、次のとおり質疑応答があった。

若尾主任： 6ページの表1-3-1、7ページの表1-3-2、9ページの表1-3-4、12ページの表1-3-7を見ると、評価を行うものとして、「所要改善量」であったり、「 $C/(I+N)$ 」であったり、「 D/U 」であったりするがなぜか。

拮石氏： 干渉を受ける既存システムのご担当より、受信器入力レベルの許容値として提供していただいているものの表し方が I/N であったり D/U であったりするためである。

若尾主任： ラジオマイクの干渉確率が、例えば1%というのは、100回の番組に使用した場合に1回は雑音が入ることか。

拮石氏： そうではなく、モデル化した60m又は10mの範囲の中で、都市部の最も混み合った状態におけるトラヒック密度を考えたときに、雑音が発生する確率が1%という意味である。

若尾主任： 報告書案の中には、そのあたりの説明も盛り込んでほしい。

イ 隣接システム間の干渉調査の結果については、資料81-MC3-2の内容とすることで合意し、報告書案に反映させることとなった。

(3) 報告書目次案について

ア 事務局から、資料81-MC3-3に基づき説明が行われた後、次のとおり質疑応答があった。

若尾主任： 各無線システムとの干渉調査の結果のところにおいては、資料81-MC3-2の3ページの「要約」に該当する記述も盛り込んで頂けるようお願いしたい。

事務局： 「3.3」の冒頭に挿入することとしたい。

若尾主任： 「Rev. A マルチキャリア」と「EVDO マルチキャリア」の用語の使い方についてもはっきりさせておくようお願いしたい。

事務局： 了解。

イ 報告書目次案については、資料81-MC3-3の内容とすることで合意した。

(4) その他

事務局から、報告書案の執筆についての協力要請と今後のスケジュールについての説明があり、次回作業班会合は、10月26日(月)15時から開催することとされた。(於：三田共用会議所)